# Webサイトのモックアップをつくる

## 環境設定

### 「編集」−「環境設定」

「一般」……「ベクトルツールと変形をピクセルグリッドにスナップ」にチェック。

「単位・定規」

「定規」「文字」……いずれも「pixel」とする。

「ガイド・グリッド」……グリッド線「10px」、分割数「10」

## 新規ドキュメントの作成

解像度……72pixel/inch。カラーモード……RGBカラー8bit。

カンバスカラー……白。

幅……1350pixel。高さ……1900pixel。

カラープロファイル……sRGB。

## ガイドの作成

レイアウトグリッドを作成する。

列……12列。1列70pixel。隣との間隔30pixel。それらを並べて中央に揃えると、両端に90pixelの余白ができる。

## ヘッダーの作成

### ヘッダーロゴの配置

「レイヤーパネル」−「新規グループの作成」……「ヘッダ」という名前に変更。

「サイトロゴ.ai」を配置。（スマートオブジェクトとして配置）

位置は、左端のガイドに沿わせ、上端から20px程度。

### ナビゲーションの作成

横書き文字ツールで、以下の文字を入力。間隔はスペース2文字分。

トラベルナビとは　　機能紹介　　ダウンロード　　サポート　　お問い合わせ

フォント「メイリオ」、大きさ「14px」、カーニング「0」、文字組「なし」

## メインビジュアルの作成

「レイヤーパネル」−「新規グループの作成」……「メインビジュアル」という名前に変更。

メインビジュアルの表示エリアを作成

「長方形ツール」……幅1170px、高さ430px。塗は薄いグレー。

位置は、上から90px。ガイドに両端揃え。

長方形のレイヤー名を「ビジュアル画像」に変更。

そのレイヤーをスマートオブジェクトに変換する。レイヤーサムネイルをダブルクリックして、スマートオブジェクトの中身を開く。

フォルダの中の「ビジュアル画像」を1〜3まで、それぞれ配置・確定する。一番下の長方形のシェイプは削除する。保存してタブを閉じると、元のウィンドウに戻る。

### メインビジュアルを切り替える

再度レイヤーサムネイルをダブルクリックして、スマートオブジェクトの中身を開く。

「ビジュアル画像1」以外のレイヤーは非表示にする。

「ウィンドウ」−「レイヤーカンプ」で、レイヤーカンプパネルを表示する。「新規レイヤーカンプを作成」ボタンをクリック。「新規レイヤーカンプ」ダイアログで、「レイヤーカンプ名」を『ビジュアル1』とする。「表示・非表示」だけにチェックを入れて「ok」。

同じやり方で、「ビジュアル画像2」だけの表示を「ビジュアル2」、「ビジュアル画像3」だけの表示を「ビジュアル3」として、レイヤーカンプを作成する。

## ナビゲーションボタンを作成する

ガイドの表示を消す。（「表示」−「表示・非表示」−「ガイド」）

楕円形ツール……直径52pxの正円を作成。塗「黒」、ストローク「なし」。

その中に、長方形ツールで、一辺15pxの正方形を作成。塗「なし」、ストローク「白」線幅「2px」。

パス選択ツールに持ち替えて、レイヤーパネルで長方形のシェイプレイヤーを選択。「編集」−「パスを変形」−「回転」選択。オプションバーで「回転」を「45」度に設定。 → ひし形になる。

ひし形の右端のアンカーポイントを「パス選択ツール」で選択し、Deleteキーで削除。「く」の字形になる。

正円と「く」の字のレイヤーを選択し、移動ツールに持ち替えて、「垂直方法中央」にする。

左右の位置は「水平方向中央」だと不自然なので、目視で調整する。

正円と「く」の字のレイヤーを選択し、「スマートオブジェクト」に変換する。

レイヤー名を「左ボタン」にする。

左ボタンのレイヤーを複製して、「右ボタン」のレイヤーをつくる。

「右ボタン」レイヤーを選択し、「編集」−「変形」−「水平方法に反転」を実行。

ふたつのボタンをそれぞれ、ビジュアル画像の左右から26pxずつはみ出す位置に配置する。

## 見出しとリードを作成する

新規レイヤーグループを作成。グループ名「概要」とする。

「表示」−「表示・非表示」−「ガイド」で、ガイドを表示する。

横書き文字ツールで、カンバス内で「alt」＋「クリック」。「段落テキストサイズ」ダイアログが表示されるので、「幅・1170px」、「高さ・30px」とする。

→新しい段落テキストのバウンディングボックスが作成される。見出しの文字を入力。文字サイズ32px。中央揃え。

見出しの段落テキストは、メインビジュアルの60px下に配置。左右はガイドに合わせる。

リードコピーを同じ要領で作成。幅1170px。高さ140px程度。文字サイズ16px。

見出しから30px程度下に配置。

## 主機能紹介を作成する

レイヤーグループを作成して、「主機能紹介」と名付ける。

概要のやり方で、見出しの段落テキストのバウンディングボックスを作成する。

見出しを入力。リードコピーから120pxほど下に配置。

### グループの作成

主機能紹介グループの中に「主機能1」というレイヤーグループを作成する。

長方形ツールで、幅270px、高さ150pxのシェイプを作成。レイヤー名を「写真ベース」とする。

移動ツールでガイドの左端にそろえ、見出しから30pxほど下に配置。

段落テキストのバウンディングボックスを作成。（幅270px、高さ16px）。

その中に「小見出し」を入れる。文字サイズは16px。揃えは中央揃え。「写真ベース」より30pxほど下に配置。

段落テキストのバウンディングボックスを作成。（幅270px、高さ35px）。

その中に「本文」を入れる。文字サイズ13px。揃えは左揃え。小見出しの15pxほど下に配置。

### 写真の配置

「写真ベース」レイヤーを選択。素材「主機能イメージ1.jpg」を配置する。写真ベースの長方形に重なるように位置を調整する。（おおまかでよい）

「主機能イメージ1」レイヤーを選択し、クリッピングマスクを作成する。下の長方形の形でくりぬかれたようになる。移動ツールで写真の位置は調整できる。

写真の右下に乗せるアイコン「主機能アイコン1.ai」を配置する。（ベクトルスマードオブジェクト）

### 詳しくボタンを作成

「角丸長方形ツール」−「シェイプ」モード。塗「なし」。ストローク「#00aedd」幅「1px」。

画面をクリックし、ダイアログで、「幅170px、高さ45px、半径4px」を指定。

この角丸長方形は、主機能1の本文から30pxほど下に配置。左右は、中央になるようにする。

「詳しく」という文字を入力。文字サイス13px。色#00aedd。角丸長方形の中央に配置。

### ボタンをスマートオブジェクトに変換

角丸長方形のレイヤーと詳しくの文字レイヤーの２つをを選択し、スマートオブジェクトに変換。

## 主機能1グループを複製して他のグループを作成する

「主機能1」グループの中……「写真ベース」「主機能イメージ1」「主機能アイコン1」「文字（小見出しと本文」「詳しく」

「主機能1」グループを複製しれ、グループ名を「主機能2」とする。

主機能2グループは、移動ツールで右方法に移動。30px開けて、「主機能1」の右に配置。

同じように「主機能3」「主機能4」グループを作成し、それぞれ30pxの間隔で並べる。

主機能2〜4の文字内容を書き換える。

スマートオブジェクトの複製

スマートオブジェクトは「レイヤーの複製」で複製すると、１つのスマートオブジェクトを修正すると、その変更は、すべてのスマートオブジェクトに適用される。

「スマートオブジェクトの複製」だと、別々のスマートオブジェクトとして扱われ、複製した方にだけ修正を加えることが可能になる。

主機能2レイヤーグループの「主機能イメージ1」レイヤー名を「主機能イメージ2」に変更。

主機能イメージ2のスマートオブジェクトを複製。元のスマートオブジェクトは、削除。

残った「主機能イメージ2」のレイヤーを選択し、「レイヤー」−「スマートオブジェクト」−「コンテンツを置き換え」を実行。「主機能イメージ2.jpg」で置き換える。

クリッピングマスクを作成して、画像の差し替えができた。

アイコンも「スマートオブジェクトの複製」で複製してから、コンテンツを置き換える。

この手順で、主機能3、4のイメージとアイコンを置き換える。

概要と主機能エリアを区切る線を作成

長方形ツールで、「幅1170px、高さ1px、塗は薄いグレー」で長方形シェイプを作成し、主機能の見出しの上端から60pxほど上に配置。

## サブ機能紹介とフッターを作成する

### サブ機能紹介の作成

サブ機能紹介レイヤーグループを作成。見出しと区切り線を作成する。（主機能紹介と同じ）

サブ機能1つ分の幅は4カラム分。

左1カラムにアイコン。残り3カラムに小見出しと本文を左揃えで配置する。

文字サイズは今までと同じ。

サブ機能1つを作成したら、同じ要領で複製し、アイコンや内容を置き換える。

### フッターの作成

「フッター」レイヤーグループを作成。

長方形ツールで「幅1350px、高さ210px、塗#d9f021」で長方形シェイプを作成する。

サブ機能紹介の下端から120pxほど下に配置。

もし、カンバスの高さが足りなければ、「イメージ」−「カンバスサイズ」でカンバスの高さを広げる。

長方形ツールで、「幅1350px、高さ20px、塗#00aedd」の長方形シェイプを作成。

先の長方形シェイプと「下端揃え」にする。

素材の「街並みイラスト」を配置する。ガイドの右端、青い長方形の上に合わせて配置する。

フッタに社名ロゴやテキスト類を配置する。

社名ロゴは、ベクトルスマートオブジェクト。文字サイズはすべて13px。